

日本医史学雑誌 第54巻 第2号

目 次

第109回 日本医史学会総会 演題目次

プログラム

会長講演

江戸時代、鋳物に関する諸問題

——田村藍水、平賀源内、シーボルト、ビュルガー、ポンペの事績を中心に——

..... 大沢 眞澄 97

市民公開講演

佐倉と順天堂の人びと..... 酒井 シヅ 102

一般演題

1 笠間藩医結解庸徳による全身麻酔下の上顎腫瘍摘出術
..... 松木 明知, 佐藤 裕 104

2 橋本宗吉(曇斎)の西洋医事集成宝鑑とエレキテルについて..... 渡部 幹夫 105

3 家伝本「紅夷外科宗傳」(1706)ほか二部についての考察..... 田中 祐尾 106

4 駟..... 松尾 信一 107

5 兵士が学んでいた包帯法に関する知識と技術
——明治7年発行『三角縋帯用法』より——..... 鈴木 紀子 108

6 明治初頭日本における医療技術の受容過程
——順天堂大学所蔵の外科器具を中心に——..... 月澤美代子 109

7 松本順の医学関連資料..... 寺畑 喜朔 110

8 佐藤泰然一族とヘボン..... 高安 伸子 111

9 1私宅監置例の精神鑑定..... 岡田 靖雄 112

10 京都の岩倉において精神障害者家族的看護を可能にした
社会的条件..... 中村 治 113

11 わが国における精神科ソーシャルワーカーの黎明(その1)..... 橋本 明 114

12 勝沼精藏先生——日本神経学の開拓者..... 高橋 昭 115

13 明治初期出版の小学生用に使用された人体構造に関する教科書について
..... 島田 和幸 116

14 長与専斎と二見海水浴場..... 西井 易穂 117

15 内務省衛生局長・窪田静太郎にとっての「癩予防ニ関スル件」..... 平井雄一郎 118

16 高木兼寛の健康教育観に関する研究(第3報)
——臨時教育会議での師範教育・実業教育改善に関する発言内容から——
..... 平尾真智子, 芳賀佐和子, 蝦名 總子 119

17 「陸軍軍医学校防疫研究報告」II部

—(その二)— 研究に加担した医学者(囑託)たち..... 蒔 昭三 120

18	産婆規則公布以降の産婆の管理 ——神奈川県を事例にして——	小川 景子	121
19	明治期における速成看護婦養成の状況 ——伝染病予防法公布の前後——	上坂 良子, 水田真由美	122
20	明治34年(1901)の医師・薬剤師調査と工藤鉄男編『日本東京医事通覧』	樋口 輝雄	123
21	厚生省看護課設置にみる第二次世界大戦後の看護改革の評価	大石 杉乃	124
22	戦後沖縄の保健・医療行政 その2 ——初期軍政下の保健・医療システム——	杉山 章子	125
23	語られない歴史 ——沖縄の保健婦駐在制に埋もれた助産婦の実践——	東 亜紀, 丸井 英二	126
24	彦根市のマラリア対策 ——小林郁と小林弘の役割——	田中 誠二, 杉田 聡, 森山 敬子, 丸井 英二	127
25	古記録の鍼灸 ——鎌倉時代・近衛家二代の日記より——	寺川 華奈	128
26	幕末の頃, 利根川流域に広凡に販売されていた秘伝のめぐすり 「家傳開明散」, 「家傳青眼膏」	青木 道夫	129
27	忘れ得ぬ植物・漢方薬の学者——佐藤潤平——	郭 秀 梅	130
28	岩国市芦山家に伝わる婦人臓腑について	片岡 勝子	131
29	雷火鍼法について	上田 善信	132
30	『名家灸選』所収の隔物灸	鶴田 泰平	133
31	江戸期の経穴学工具書について	天野 陽介, 小林 健二, 石野 尚吾, 花輪 壽彦	134
32	『洪氏集驗方』の鍼灸について	宮川 隆弘	135
33	中国明代までの症状と脈状	中川 俊之	136
34	『決脈精要』の考察	木場由衣登	137
35	国立公文書館内閣文庫所蔵の脈書『紫虚崔真人脈訣秘旨』について	吉岡 広記	138
36	アンドレアス・ヴェサリウスとフィレンツェ公コジモ・ディ・メディチ	泉 彪之助	139
37	ニコラ・アンドリ(1658~1742)の「オルトペディ」について(その二)	小林 晶	140
38	16世紀前半の解剖用語について ——脱アラビアの試み——	澤井 直	141
39	John Hunter「補遺」について	水谷惟紗久	142
40	“ヒポクラテスの木”2007 ——コス島の“ヒポクラテスの木”の来歴と現状——	稲松 孝思	143
41	アトキンソン・モーリー病院の創設と発展	柳澤 波香	144
42	本邦初の頭部単純レントゲン撮影を行った済生学舎教師の丸茂文良医学士	志村 俊郎, 唐沢 信安, 殿崎 正明, 岩崎 一	145

43	田原の原著からみる知られざる業績	島田 達生	146
44	魯迅が受けた藤野厳九郎による解剖学史の講義について	坂井 建雄	147
45	済生学舎出身の旧制金沢医科大学学長須藤憲三に関する新事実	殿崎 正明, 岩崎 一, 志村 俊郎, 唐澤 信安	148
46	戦前の東京の精神科病院と精神科看護	金川 英雄, 堀 みゆき	149
47	フーフェランドの「医戒」から引用した校是「克己殉公」を实践した 小此木信六郎	岩崎 一, 殿崎 正明, 志村 俊郎, 唐澤 信安	150
48	道教と中国伝統医学 (第28回黄庭経)	吉元 昭治	151
49	『大同類聚方 (寮本・延喜本)』に見える古代の医術	後藤 志朗	152
50	『十訓抄』の中の身体に関わる表現	計良 吉則	153
51	荻生徂徠の死因	杉浦 守邦	154
52	南宋五卷本『和剂局方』の再検討	鈴木 達彦	155
53	龍谷大学蔵大谷文書 5467号の『本草集注』	猪飼 祥夫	156
54	『宋板傷寒論』系諸版の検討	真柳 誠	157
55	『戴曼公唇舌図訣』の思想について	西巻 明彦	158
56	江島杉山神社の御神像について	大浦 宏勝, 市川 友理	159
57	医家肖像に関する考察	小曾戸 洋, 天野 陽介, 町 泉寿郎, 花輪 壽彦	160
58	本居宣長記念館所蔵『揆穴会志』について	山崎 陽子	161
59	『医説』巻第二・鍼灸の典拠について	田中利江子, 橋本 典子	162
60	江戸前期の医学辞典における収録病證の変遷	永嶋 泰玄, 岩田源太郎, 大井 康敬, 杉浦 雄	163
	The 109th General Meeting of the Japan Society of Medical History		164
	医史学関係文献目録 (平成18年, 2006年)	順天堂大学医史学研究室編	167
	編集後記		210